

“浴衣”のレンタルと着付け、東京タワー展望チケット付き、夏の宿泊プラン発売！
東京タワー“天の川イルミネーション”と地上 150m の夜景、“日本橋レトロ”を浴衣で
外国人観光客の入国再開に合わせ、日本を感じられるプラン提供

東京駅前の「ホテル龍名館東京」(中央区八重洲 1、客室数 135 部屋)は、浴衣のレンタルと着付け、東京タワーの展望台(メインデッキ)のチケットが付いた宿泊プランを新発売します。宿泊対象日は7月1日(金)から9月4日(日)までで、予約は本日6月13日(月)から受け付けます。

プラン提供期間中、東京タワーでは「天の川イルミネーション」を開催中で、浴衣を着て七夕の風情が楽しめます。ホテルが位置する日本橋はレトロな雰囲気の歴史的建造物が多く残り、街歩きするのもぴったりです。歴史に触れながら、都内で気軽に旅行気分を味わっていただける宿泊プランです。

外国人観光客の入国が再開(6/10～)されたのに合わせて、日本を感じられるプランを用意し、国内外の観光需要を取り込みます。

浴衣は男女合わせて 25 種を用意！着付けはプロが対応

浴衣は、ホテルから徒歩1分と近い、一般財団法人「民族衣裳文化普及協会」の東京日本橋教室で男女合わせて常時約25種を用意します。約10種の帯と組み合わせながら、お好みのスタイルを自由に選べます。履物や、腰ひも、巾着なども一式揃えるので、当日は手ぶらでお越しいただけます。

着付けは、プロが行います。チェックイン日の11:00～15:00に着付けを行い、翌日のチェックアウト時間11:00まで貸し出します。返却はフロントに返すだけです。東京散策を風情のある浴衣で、たっぷりお楽しみいただけます。

高さ 150 メートルで「天の川イルミネーション」

宿泊プランには、東京タワーの高さ150メートルにある展望台「メインデッキ」のチケットも付けます。宿泊対象期間中、同展望台では、夏恒例の室内イルミネーション「天の川イルミネーション」を楽しめます。15分に1回、天井に青と緑で表現した「夏の夜空」や、夜空を駆け巡る「流れ星」がさまざまな色に変化し、白を基調にした約20メートルの「天の川」がゆっくりと7色の“レインボーミルクウェイ”に輝きます。日没後は、窓ガラスにイルミネーションの輝きが映りこみ、頭上と目の前に広がる“幻想的な星空空間”を体感できます(写真下)。

浴衣を着て、七夕気分で東京の夏の風情をお楽しみいただけます。



複数人同時の着付け対応も可能で、カップルや女子会でのご利用にもおすすめ



宿泊プラン概要

名称	【夏季限定】女子旅♪浴衣着付け体験&東京タワー天の川イルミネーション☆夏満喫プラン！
対象期間	2022年7月1日(金)～9月4日(日)
予約期間	2022年6月13日(月)～8月25日(木) ※ホテル公式 HP (https://www.ryumeikan-tokyo.jp/)にて予約受付 ※1日3室限定
部屋価格 (税込)	スタンダードセミダブル(2名):23,600円～、ダブル(2名):32,200円～ コーナーデラックスツイン(2名):36,200円、プレミアムスイート(2名):57,100円～ 他全12タイプ ※プラス2500円で朝食「東京buffet」の追加が可能
特典<1>	◇浴衣のレンタル・着付け ※浴衣、帯、下駄、巾着、腰ひもなどの小物類 ※男性向けの浴衣もご用意します ※着付けと浴衣の貸し出しは、ホテル徒歩1分の一般財団法人民族衣裳文化普及協会にて ※着付け対応時間はチェックイン日の11:00～15:00、返却は翌日11:00まで
特典<2>	◇東京タワー展望台「メインデッキ」チケット ※チケットは、ホテルでのお渡しとなります ※営業時間中は終日、天の川イルミネーションを実施。営業時間は、東京タワーの公式 HP (https://www.tokyotower.co.jp/)をご確認ください。
その他	プラス2500円で、和食ビュッフェの朝食「東京buffet」の追加可



シングルからプレミアムスイートまで、全12タイプがプラン対象



朝食は野菜もたっぷり摂れる「東京buffet」。
創業120年、会席料理屋として培った伝統を受け継ぐ本格和食の数々をビュッフェ形式で

ミシュランガイド 9 年連続掲載&海外評価で殿堂入り
東京駅前のスモールラグジュアリーホテル「ホテル龍名館東京」について

2009年開業の「ホテル龍名館東京」(八重洲)の元々は、1899年(明治32年)開業で、「ホテル龍名館お茶の水本店(旧旅館龍名館本店)」「(神田駿河台)の分店として開業した、「旅館呉服橋龍名館」(1963年「ホテル八重洲龍名館」に改称)です。

源流である「旅館龍名館本店」は開業以来、画家や作家、芸術家など文化人に愛され、日本画家では川村曼舟や伊東深水らが泊まったこともある伝統ある旅館です。作家の幸田露伴の次女である幸田文が、小説「流れる」で、帝国ホテルと並び在京の名店に挙げたほか、宿泊いただいた画家が宿泊代の代わりに自身の絵を置くなどのエピソードが残る老舗です。

その文化を汲む「ホテル龍名館東京」は、和・洋が融合した気品のある優美なしつらえが特徴で、男性イメージのビジネスホテルとは一線を画すスモールラグジュアリーホテルとして、お客様に定着しています。

東京駅前徒歩3分という好立地で、ビジネスはもとより旅行の拠点としても多くご利用いただいています。

これまでにミシュランガイドに9年連続(2012年～2020年)で掲載されたほか、日経トレンディの「2012年ホテルランキング」のビジネスクラスの部類で全国1位を獲得するなど、高い評価を得ています。

また世界最大の旅行口コミサイト「TripAdvisor(トリップアドバイザー)」では、2011年度より8年連続のエクセレンス認証を受賞し、殿堂入りするなど、外国人観光客にも人気を集めています。



さらに、ホテル15階の和食店「花ごよみ東京」では、月替わりの”手作り本格和食”や東京産野菜などを使用した地産地消の料理を楽しめる朝食ビュッフェ「東京ブッフェ」が大変ご好評いただいています。ご宿泊客はもちろん、一般のお客様もご利用いただけます。

施設名	ホテル龍名館東京	開業日	2009年6月1日
住所	東京都中央区八重洲 1-3-22	交通	JR 東京駅八重洲北口から徒歩3分
客室	シングルルーム、ツインルーム、スイート等 12種類の客室をご用意		
客室数	客室 135 室、レストラン 2 軒	宿泊料金	21,000 円～
電話	03-3271-0971	ホームページ	http://www.ryumeikan-tokyo.jp/

本件に関する報道各位からのお問い合わせ先

(株)龍名館 広報担当 渡邊、山口、濱田(はまだ) 03-5298-2988(tel) p.r@ryumeikan.co.jp

広報事務局(Clover PR 内) 富田、澤本 03-6452-5220(tel) cloverpr@cloverpr.net